



障スポ開会式  
選手代表宣誓者  
陸上競技

林 昌代

## 福井しあわせ元気大会の繋がり

2018年10月。3日間という短い期間でしたが、平成最後の大会が無事終了しました。私は、ここに集まった全ての選手の、今まで練習してきた成果を出したい!自己ベスト、大会新記録を出したい!という気持ちを代表して、心を込めて元気良く選手宣誓に臨みました。私達の選手宣誓に競技場全員が、静かに耳を傾け、大きな拍手が鳴り響いた時は、感動がこみ上げてきました。競技期間中も県内外の選手、ボランティアの方々とは交流できた事が、良い思い出です。これからも、いつも支えて下さっている回りの方々や、家族に感謝しながら多くの人達と出会い、繋がりを持ち続け、様々な活動をしていきたい と思います。



障スポ開会式炬火走者  
車いすバスケットボール

古崎 倫太郎

## 応援からもらった「力」と「元気」そして感謝を込めて

私は、福井しあわせ元気大会で炬火の第一走者を務めさせていただきました。地元で、このような大役をさせていただき本当に嬉しかったです。当日は快晴の中、開会式が始まりました。第一走者と言う事で、ものすごく緊張がありましたが、出場する選手の皆さんに「希望と勇気」をあげられたらいいなと思いつつ、その時を待っていました。今大会は、国体と障スポの融合という事で、私が出場した車いすバスケットボールは国体期間中に試合が行われました。たくさんの方々が試合を見に来て下さり、体育館中が1つになり、「チーム福井」を応援してくれ、その声援が私達の「力」になり「元気」をもらいました。その応援をもらった私が、炬火に、「力」と「元気」を込めて、今から戦う選手の皆さんに応援の気持ちを思いながら、第一走者としてグラウンドに入って行き第二走者へと繋ぎました。今大会で1番感じたことは「応援の力」の凄さです。応援をいただいた方々への感謝の気持ちを忘れずに、これからの競技人生を頑張ります。本当にありがとうございました。



国体総合開閉会式  
歓迎県民(県民参加)  
イベント出演者  
福井県武術太極拳連盟  
会長

大西 義幸

## 熱意と感謝の国体を終えて

記念すべき国体に、どの様に取り組むか、福井国体決定は、私共の大きな課題となりました。スポーツ団体として、積極的な一役を果たしたい、その楽しい経験が以後の人生に大きく意義あるページを残すことになれば…。  
ところで何が出来、何を達成するか…!! 集団演武で、開・閉会式の一角を、と目標と定め、26式太極拳の練習を呼びかけ、県内を南北に分ける練習、年数回は全県集合での練習、700余名の練習は会場を得るのも大変でした。一方、この国体が青少年のスポーツ活動に寄与することが大切と考え、私共のデモスポ会場となる越前市の理解を得て、市下小学校への演武指導に汗を流し、各学校の理解のもと、開会式での演武も成功、2年余の努力と精神は篠突く雨をものともせず、正に晴ればれとした演武となり、県下の仲間等しく心に強く残る活動、大会となりました。  
この間、ご理解、ご支援下さいました皆さんに心から感謝申し上げます。ありがとうございました!!

# しょ かん しゅう 所感集

両大会のあゆみ

所感集

募金・協賛

実行委員会



国体総合開会式・  
障スポ開会式  
歓迎県民イベント出演者  
国体バトンチーム  
福井工業大学附属福井高等学校  
バントワリング部

## 三崎 紗也子

### バトンで福井国体にエールを

この度は、福井しあわせ元気国体・障スポの歓迎県民イベントに出演させていただきましたこと、誠に感謝申し上げます。このような盛大なイベントにバントワラーとして参加することができたことは、私にとってかけがえのない思い出になりました。

国体が近づくにつれて、私たちが色々なイベントで披露してきたはびねすダンスが多くの人に親しまれるようになり、嬉しく思いました。開会式ではびねすダンスを踊ったときには、これが最後の演技だと思うと寂しくもありましたが、観客の皆さんと一体となって心から楽しむことができました。

バトンの合同演技は、幅広い年齢層の200人が一つの曲で演技するため短い期間で仕上げられるのか不安でしたが、回を重ねるごとに小さい子も場所を覚え、動きが揃うようになっていきました。当日はあいにくの雨でしたが、多くの人が見に来られていて、温かい拍手で迎えてくれました。その光景に胸が熱くなり、気持ちを込めて精一杯演技しようと思いました。

今回の国体・障スポを通して、少しでも多くの方にバトンの魅力を感じてもらえたら嬉しいです。私たちに貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。



国体総合開会式・障スポ  
開会式  
歓迎県民イベント出演者  
OTAIKO響  
福井県合同太鼓チーム

## 清水 武留

### 福井しあわせ元気国体ありがとう

ぼくは、きょうりゅう行進曲を国体でたたくと聞いて、リズムもむずかしいし、たくさんの人と音を合わせてたたくのか心配でした。いっぱい練習をして、初めてのリハーサルで三百人の人と合わせた時は、ドキドキしたけれど、音のはく力にとっても感動しました。

暑い中、練習をつみ重ねてやっとむかえた本番は、どしゃぶりの雨でした。とても寒くて体がうごく心配だったけど、たたいている時は、たくさんのお客さんが見てくれていたし、楽しんでたたくことができました。

障スポは、すっきりした青空で、おわった後は、あせがだくだくだったけど、やりきったという気持ちになれてとてもうれしかったです。

国体に参加して、みんなで力を合わせて、一つの曲を演奏できることの大へんさと、できた時のうれしさを感じることができました。ぼくは、この経験をバネに、人に感動してもらえるような演奏ができるようにこれからも太こを続けていきたいです。



障スポ開会式  
歓迎県民イベント出演者  
真美健康体操協会

## 鎌倉 万り子

### 障害者スポーツ大会に参加して

障害者スポーツ大会の開会式は、見事な秋晴れのもと皇太子様をお迎えして開催されました。歓迎県民イベントのオープニング、真美健康体操が演技披露致しました。

「ザ・ワールド イズ アワーズ」この曲で全国から福井に来て下さった選手、観客の方々に心からのエールを贈ります。演技参加者202名、楽しく笑顔あふれる踊りと共に、元気な歓声が競技場にとどろき圧巻でした。また他のどの団体の演技も、この素晴らしい大会の幕開けにふさわしいと感動しました。

実際にこの大会に向けての福井真美の皆さん方の意気込みは凄くて本来の200名参加予定数を軽く超え350名以上の応募があり、なんとか予定数に収めさせて頂いた経緯があります。この猛暑の中、練習やりかたを重ね（競技場への入退場も含め）汗だくになりながらも頑張る姿を見ていると、こちらの胸まで熱くなり、あらためて、みんなのこの熱い想いが両大会の成功へ届くようにと、強く思った次第です。

国体の式典演技には真美ジュニア、のびかるクラブも参加致しました。国体、障スポの式典演技への参加どちらも、生涯において二度とないであろう貴重な体験でした。

本番までの道のりは大変でしたが、この福井で開催される国体、障スポの開会式に参加できて、心に残る一生の思い出となりました。



国体総合開会式・障スポ開会式  
式典演技出演者(ナビゲーター)  
STARS☆

## 月田 花凜

### はびねすダンスに想いをのせて…

私は「福井しあわせ元気国体(大会)」の式典演技に、ナビゲーターの三世代ファミリー長女役として出演させていただきました。はびねすダンスを県民に広げるための活動を約4年前からしてきたので、演技に懸ける想いは本当に強く、必ず成功させようと心に誓っていました。初めは三世代ファミリーの皆さんと、うまく掛け合いができるのか不安もありましたが、練習の度にまるで本物の家族のような雰囲気になりとても楽しかったです。暑い中、納得いくまで何度も練習を続け、いよいよ本番。天気はあいにくの雨。それでも、カッパを着て待ってくださっている観客の方々の数にとっても驚きました。雨に濡れ、寒い中での演技でしたが、これまでの全てを出し切ることができました。最後のはびねすダンスが終わった後は感動して涙が止まりませんでした。最高のステージを作り上げられたこと、今まで関わってきた全ての人たちに感謝の気持ちでいっぱいです。一生忘れません。本当にありがとうございました。



国体総合開会式・障スポ開会式  
式典演技出演者(シーン1)  
ふくい車いすダンススポーツクラブ

## 竹下 輝政

### 最高の思い出

福井しあわせ元気国体・元気大会の開会式は、晴がましくもこの上のない喜びと最高の思い出となりました。

4、5年前から国体準備検討会などに出席させてもらい、何かしらの形で国体に関わりたくと強く思っていました。はびねすダンスの車いすバージョンを作り車いす仲間と一生懸命練習したり、身障相談員仲間とバリアフリーマップを作成、そして車いすテニスオープン競技を開催したりと元気国体・大会に向けて様々な形で関わることができました。そして何と言っても開会式の式典演技に参加できたことは最高の思い出となりました。

はびねすダンスは2年間毎週のように練習してきたので自信はありましたが、シーン1の演技は間際まで決まらず上手く踊れるのか心配でした。国体開会式当日は激しい雨と寒さの中、天皇皇后両陛下はじめたくさんの観客の前での緊張溢れる演技でしたが、みんなと一体になって「和」と「力強さ」を表現できたと思います。

「融合」を掲げ、健常者も障がい者も共に一丸となって国体を盛り上げ成功させたことは誇りであり、自信にもなりました。私にとって人生最大の貴重な経験をさせていただき心から感謝申し上げます。



国体総合開会式・障スポ開会式  
式典演技出演者(シーン2)  
仁愛女子高等学校  
ダンス部 部長

## 廣部 佐弥佳

### 大雨の中さらに団結した私たち

私たちは福井国体開会式式典演技のシーン2に出演させていただきました。

2018年2月から合同練習が始まり、どのような作品になるか期待と不安で胸がいっぱいでした。福井県のパレエ団の方々約400人とともに同じ踊りを踊ることは、想像していたよりはるかに難しかったです。また大きな円を作って踊るため、一人でも飛び出していたり、カーブがうまくできていなかったりすると、円に見えなくなってしまいます。そのため、芝生にあるマークを目印にして自分の立ち位置を正確に覚えました。練習を重ねていくうちに、きれいな一つの円になっていき、また、ばらばらだった踊りを一つ一つそろえていくことで、みんなが団結したと実感しました。

本番では雨が降り足場が悪く、練習してきた成果が発揮できるか不安でした。しかしスタジアムへ入場すると多くの観客の方に囲まれ、初めてみる光景にとっても感動し、元気をもらいました。雨が降っている中で踊るのは初めてのことで、雨が目に入り、前もなかなか見られず大変でしたが、福井国体の選手の方々に元気を届けるために一生懸命踊りました。また、振付を考えてくださった講師の方や指導してくださった先生方、会場運営の方々、そしてつらい練習を共に汗を流しながら頑張った仲間たちに感謝しながら、笑顔で演技することができました。

福井国体開会式式典演技に出演できたことは、私にとって一生の宝物であり貴重な青春の1ページとなりました。



## 人生につなげる思い出

2018年3月から始まった式典練習。私達アドバンスターはセンターステージと、フィールド上で演技させていただきました。練習した約半年間色々な意見を交わしながら、夏は炎天下の中、たくさんの汗を流し、涙をこらえて本番を迎えました。

残念ながら当日は、あいにくの雨でしたが、一人ひとりの気持ちが欠けることなく、笑顔いっぱいの演技を披露する事ができ、胸がいっぱいになりました。子供たちの力、それを支える家族の力、一つにまとめる大会関係者の皆様の力があったからこそ成功したのだと改めて思っております。

私はこの福井国体を通して、沢山の笑顔溢れる思い出と、様々な経験をする事が出来ました。私だけでなく、一人ひとりが様々な経験をし、これからの人生につなげていける事と思います。素晴らしい思い出をありがとうございました。

国体総合開会式・障スポ開会式  
式典演技出演者(シーン3)  
ダンススタジオアドバンスター

谷口 麻佑子



## 雨でも笑顔でころひとつに

国体の開会式で踊らせていただけたこと、本当に幸せに思っています。ありがとうございました。式典演技の中でもチアのシーン4では、小学生から70代の方まで幅広い世代でひとつの演技をさせていただきました。ここまでたくさんの方と広い場所で踊るのは初めての経験で、フォーメーション移動などが想像以上に大変でした。猛暑の中の練習、雨の日の練習、普通は嫌になるところですが、私たちは「チアリーダー」らしく「元気!笑顔!」とみんなで声を掛け合い、楽しく練習が進んでいきました。スタッフの方の給水や塩分補給の準備にも随分助けられました。そして、本番は大雨の中の演技。雨が降ったのは残念でしたが、雨だったからこそその「もうやるしかない!」というパワーが出て、感動の演技になったのだと思います。当日の出番前、私たちは出演者の皆さんを励まそうとサプライズで

国体総合開会式・障スポ開会式  
式典演技出演者(シーン4)  
福井県立福井商業高等学校  
チアリーダー部

高橋 沙季

サンボマスターさんの「できっこないをやらなくちゃ」を踊らせていただきました。すると、年齢、チーム関係なく「笑顔でやろう!」「頑張ろう!」と声を掛け合い出演者全員がひとつになったのを感じました。それも本番の演技と同じくらい感動した出来事でした。私たちがあの素晴らしいステージで輝けたのは、何年も前から準備してくださった方、周りでサポートしてくださった方がいたからです。感謝の気持ちでいっぱいです。これからも私たちは「チア」の力で福井をより元気に、笑顔にしていきたいと思います。

## しあわせ&元気そしてLove&Peace

暑く、そして熱い練習。開会式本番の冷たい雨を吹き飛ばすような、みんなの元気と笑顔。すべてがそろって2018年福井しあわせ元気国体・大会は始まり、そして幕を閉じました。

私たち、福井 Love & Peace プロジェクトは、福井を愛と感動でいっぱいになりたいと思っている大人の団体で、学校行事や様々なイベントで「表現」や「異文化理解」をテーマとしたパフォーマンスやワークショップを開催したり、ミュージカルをしたりするなど、幅広く活動をしています。今回は、県内外のアスリートたちを含め、「しあわせ元気」と銘打った福井の国体・障スポに関わるすべての人への応援の気持ちを込めて、精一杯歌って踊りました。

何年も前から一つの大きな共通の目標に向けて準備に取り組み、選手として監督やコーチとして、あるいは舞台の裏を支える者として多くの方々が関わり、泣いたり笑ったり様々な難局を乗り越えてきました。国体開会式では、雨の中なのに、いえ、雨だからこそ、たくさんの元気や笑顔があふれ、最後には選手の皆さん観客の皆さんと共に仕上げた感動が、今も目の前に思い出され、胸がいっぱいになります。

何より、自分たちが最も楽しませてもらったことに感謝の気持ちでいっぱいです。しあわせ&元気、Love & Peaceを、ありがとうございました。



国体総合開会式・障スポ開会式  
式典演技出演者(ファイナル)  
福井Love&Peace  
プロジェクト

伊藤 美智子



国体総合開会式・障スポ  
開会式  
式典演技振付師(シーン4)

**三田村 真帆**

## チアの街! 福井!

この度は、福井国体式典演技シーン4の振り付けを担当させていただきましたこと、素晴らしい経験に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

国体開会式当日は生憎の大雨ではございましたが、全出演者の全力のパフォーマンスに心を打たれ、“やはり福井は素敵な街だ”と改めて感じ、これをもっと伝えていかねば!とっております。

普段、私はチアダンスの大会用振付等をさせていただいておりますが、国体では、約500名の福井のチアリーダーが集い、ここまで大人数の皆さんと作品を作り上げることは初の試みでありました。音楽・構成・振付と何一つ妥協せず、福井の魅力・チア魅力を両方しっかりと伝えたい!の一心で作らせていただきました。当日の皆さんのパフォーマンスからは人を元気づけ、笑顔にするというチアリーダー本来の役目をしっかりと果たされ、選手の皆様、そして福井の皆様にご尽力でエールを送れたことは、とても嬉しく、そしてこのような経験をさせていただけたことに心から感謝が溢れました。関係者の皆様、身に余るほどの光栄な機会を本当にありがとうございました。これからもチアで!福井を盛り上げていければと思います。



国体総合開閉会式  
式典アナウンサー  
福井県立福井商業高等学校

**田倉 優美**

## 式典アナウンスを通して

式典アナウンサーに選ばれたと聞いたとき、とてもうれしかったことを鮮明に覚えています。大好きなアナウンスで国体に携われる。その誇りを胸に、練習に励もうと意気込みました。しかし、いざ台本を目の前にしてみると、台本の分厚さとなれない言い回しに、戸惑いが大きくなりました。「本番で会場の方に伝わるアナウンスができるのか」と悩んだとき、傍らで助けてくれたのが同じく式典アナウンサーを努めた高校生の河端さんと谷口くんでした。彼らは常に私を励まし、休み時間も練習に付き添ってくれました。お陰で徐々に不安がなくなり、自信を持ってアナウンスできるようになりました。また、プロのアナウンサーの平野さん、鮎田さんや社会人の式典アナウンサーの橋本さんとも協力し、アナウンサーメンバーで一致団結して本番に挑むことができました。

迎えた開会式、時間がたつにつれ雨が強くなり、予定通りに進まないところもありました。それでも選手、パフォーマー、スタッフ、ボランティア、そして観客の皆さんが一つになり、大成功のうちに終わりました。福井県民一丸となったこの国体に参加できたことは、私にとって一生の宝物です。



障スポ開閉会式  
式典アナウンサー  
福井県立福井特別支援学校

**山田 愛莉**

## 福井しあわせ元気大会のアナウンスを通して

私は「福井しあわせ元気大会」でアナウンスを務めさせていただきました。私は身体の障がいのでスポーツができないので、国体・障スポに関わることはできないと思っていました。だから、約50年に一度の記念すべき大会に、大好きなアナウンスで参加できたことは、とても嬉しかったです。

初めての合同練習会の時、周りはみんな高校生以上の方で、コンテストで入賞しているなど、レベルがぜんぜん違い、とても不安でした。しかし、練習会で、鮎田アナウンサーに指導していただいたところを重点的に練習し、本番はほとんど緊張せずに、今までで一番楽しいアナウンスができ、とても嬉しかったです。

今回、身体に障がいのある私でも、健常の方と一緒に大きな舞台でアナウンスができたことで、大きな自信ができました。

そして、小1の頃から、私に運動会でアナウンスをさせていただいた先生方や、今回の障スポでアナウンスをするのにあたってご協力いただいた方達、皆さんに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。私は将来、障がいのある人とならない人を繋いで、たくさんの人を“しあわせ”にできる仕事をしたいです。